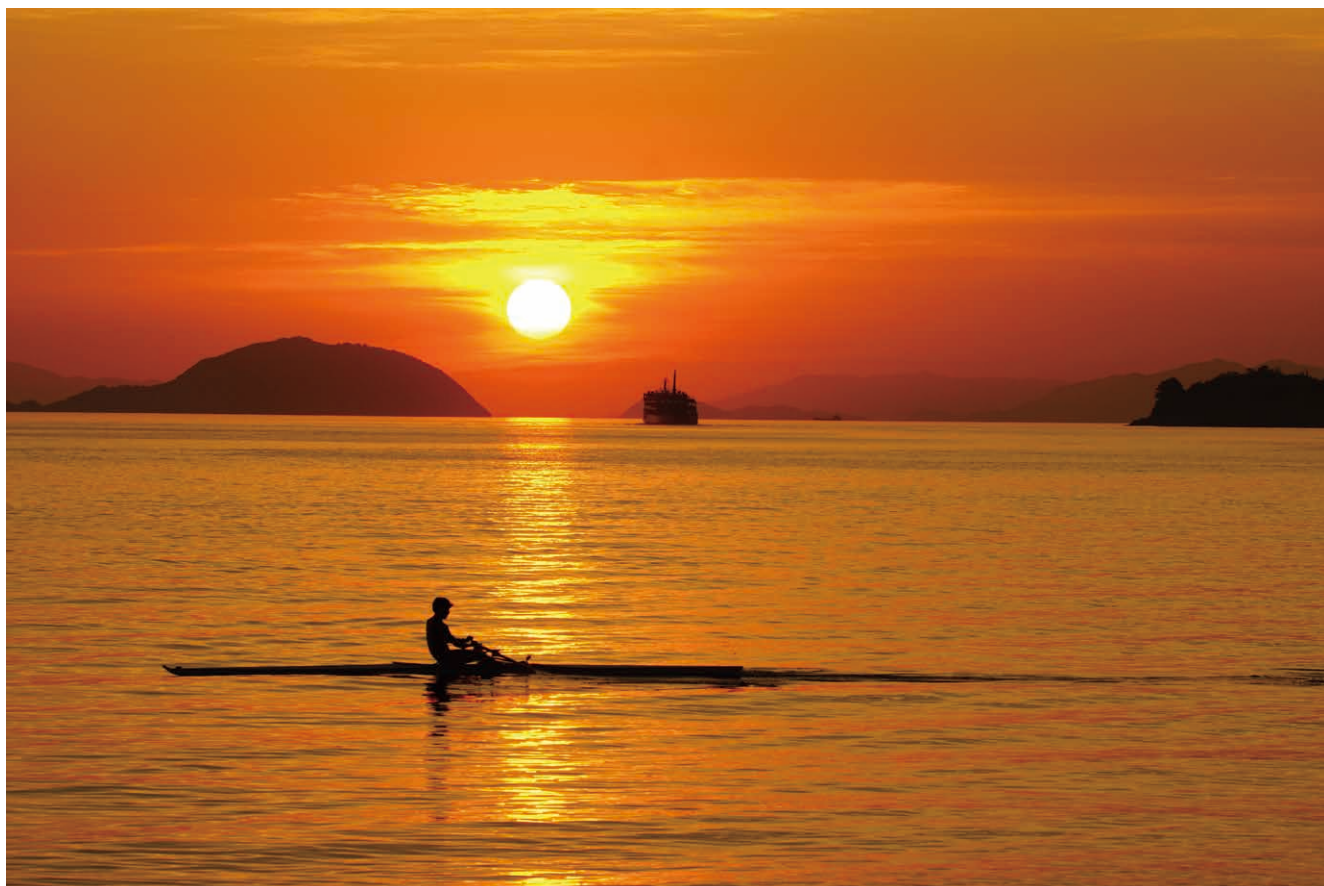


シルバー 松山

No.120 秋季号



サンロードを横切るシングルスカル 梅津寺海岸にて
写真提供 会員 二宮 和久さん

もくじ

- P 2 デジタル化への取り組み
- P 3 素敵な愛顔 えがお
- P 4 我が家のペット自慢／頭の体操
- P 5 シルバーサロン清水町／きよみず句会
- P 6・7 設立40周年記念特集
- P 8・9 委員会・講習会・研修会だより
- P10 理事会の動き
- P11 ふらっと寄り道
- P12 こちら事務局／編集後記



編集・発行
公益社団法人 松山市シルバー人材センター
所在地 松山市若草町8-3
TEL 089-933-7373
FAX 089-933-0131
<https://m-silver.sakura.ne.jp/>
e-mail : matuyamasc@sjc.ne.jp

デジタル化への取り組み

**配分金明細書の郵送を廃止し、
会員専用WEBサイト「Smile to Smileサービス」での提供へ**

当センターでは令和4年度以降、国の施策とともにセンター全体のデジタル化を推進しており、その進捗状況については、随時会報や事務局だよりを通じてお知らせしてまいりました。

今年1月の会報新年号では、受託事業で就業した会員さんへ発行・郵送している配分金明細書（以下「明細書」という）について、令和7年9月発送分をもって郵送を廃止し、会員専用WEBサイト「Smile to Smileサービス（以下「スマスマ」という）」での提供となる旨のチラシを会員さんにお送りし、さらに前回7月発行の会報夏季号に同封した「事務局だより知っという！まつやま」でも周

知啓発を行ってきたところです。

そして、今年8月に受託事業で就業した会員さんに対しても、9月中旬に発行した明細書もちまして郵送を終了しました。今後は「スマスマ」での提供となります。

現在「スマスマ」へ登録いただいている会員さんは、約750名で、全体の3分の1以上にあたります。「スマスマ」には、デジタル会員証の機能がついており、これまでのカード型会員証を持っていなくてもスマートフォンがあれば会員証を提示することができます。

さらに最新の就業情報が随時閲覧でき、なおかつ興味のある就業情報に対してWEB上で申し込みもできます。またフリーランス保護法の施行により、就業前に発行・受取が必要となった就業条件明示書も明細書と同様に閲覧が可能になりました。

忙しい方や遠方の方がわざわざ事務局へ足を運ばなくても「スマスマ」に登録していればいつでも必要な情報を見ることができます。

いずれは、シルバー派遣事業で就業された派遣会員さんの給与明細書も「スマスマ」で閲覧できるようにする予定で、より便利で使いやすくなると考えています。まだ「スマスマ」へ登録されていない会員さんや、登録しているが使い方が分からない会員さんは、ぜひ事務局まで

お尋ねください。

（お問合せ先…総務課会員係）

※令和7年10月以降で、パソコン・タブレットやスマートフォンをお持ちでない等、何らかの理由で「スマスマ」に登録できない方等につきましては、本部または各支部事務所で明細書を発行しますので、事務局職員にお申し出ください。

※明細書の書面での発行をご希望の方は、事前に連絡いただくスムーズにお渡しできます。

なお、書面の郵送はいたしませんので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

重要なお知らせ **令和7年10月から**

配分金明細書の郵送を廃止し
会員専用WEBサイト
「Smile to Smile サービス」
での提供へ

郵便料金の値上、デジタル化への取り組みとして
令和7年10月から配分金明細書の郵送を廃止し
会員専用WEBサイト「Smile to Smileサービス」での提供に切り替えます。

令和7年8月分まで	配分金明細書を郵送（令和7年9月郵送）
令和7年9月分から	郵送を廃止

※明細書が必要な方は事務局までご来訪頂ければ発行いたします。

「Smile to Smileサービス」とは
「Smile to Smileサービス」は、
シルバー人材センターと
会員とのコミュニケーションツールです。

主に **4つ** のことができます。

① お知らせ 事務局からのお知らせを確認できます。	② 就業情報 就業情報を閲覧でき、就業を希望する場合は、就業希望登録を行うことができます。	③ 配分金の確認 配分金の明細を確認することができます。	④ センターからの就業依頼 センターからの就業条件明示書を確認することができます。
-------------------------------------	---	--	---

▲令和7年1月発行会報
シルバー松山新年号に
同封したお知らせチラシ



◀ Smile to Smile
サービス

3事業合同企画 「お城下マルシェ」に出店！ 活気あふれるナイトマルシェが 大成功

去る7月、松山市駅前の花園町で毎月開催されている「お城



下マルシェ」に初めて、センター3事業が合同で出店しました。7月は16時から20時に開催されるナイトマルシェとなり、各事業が協力し、マルシェ実行委員会やセンター事務局の支援のもと、挑戦しました。

異なる分野の3事業が協力したことで、相乗効果が生まれ、各ブースには大勢のお客様が訪れました。

「シルバーFarm平井」

自社農園で育てたジャガイモ「デジマ」「メークイン」と、会員が手作りのポプリを販売しました。特に、大玉の「デジマ」は好評でした。また、企画した



「ジャガイモの重さ当てクイズ」も大盛況。重さをぴったりに当て景品をゲットしたお客様の満面の笑みが、店舗に活気をもたらしました。

栽培から販売までを一貫して手がける「六次産業」を会員が経験したことは、今後の活動に役立つ貴重な財産となりました。今後は、さらに商品のラインナップを拡充していきます。

「シルバーサロン清水町」

会員の愛情がこもった手作りの食品や小物、多肉植物などを



販売し、多くの方にご来店いただきました。特に、「ビタミン」・「たんぱく質」入りおにぎりや紫蘇ジュースなど熱中症対策を意識した商品が人気を集めました。

「トリセツの会」

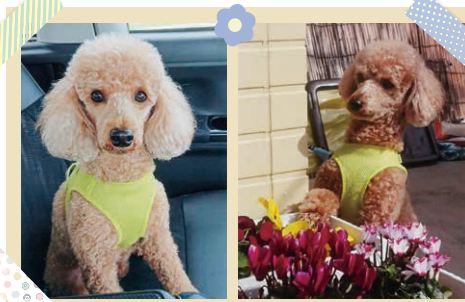
アウトドアライフに役立つ、吸血昆虫対策のオニヤンマ模型を販売し、製作体験コーナーも開設。お子様連れのご家族に特に好評で、興味を持っていただくきっかけとなりました。



3ブース合わせて13名の会員が参加し、活気あふれるナイトマルシェとなりました。

「我が家のペット自慢」では、会員の皆さんからの投稿をお待ちしています。ペットと一緒に写真を載せてみませんか？
詳細は事務局会報担当／矢野へお問い合わせください。

昨年11月に我が家に
やってきた保護猫です。
茶トラ男の子(2歳) きりたんぽ君
黒猫男の子(2歳) ひいき君
茶白男の子(2歳) ちくわ君
みんな元気に大きくなりました。
清水信利



げん太(6歳)男の子

愛犬の「げん太」君です。毎日朝夕の2回散歩
します。爺さん相手の散歩なのでそろそろり。
げん君が「もう少し早く歩いて」と催促しますが、
なにせこちらの足が痛くて、不満げ。車が大好きで、
月に1度くらいは、娘たちが来て遠くに連れて行って
くれます。この前は、重機も同伴でできる岡山
の蒜山高原のバンガローに宿泊しました。
この先、自分たちの方が残された時間は短いと、
娘たちに「後はよろしくお願いします」と言ったら
「その時はその時。後は誰かがするわ」との返答。
そうか人生セーサーなんだ。
矢野英輝

我が家の
ペット自慢



①	②		③			④	⑤
⑥					⑦		
	⑧	⑨		⑩			
⑪				⑫			⑬
	⑭					⑮	
⑯				⑰			
	⑱					⑲	

タテのカギ

- ①「こんな意味不明な原稿は〇〇だよ」
- ②ひらがなを組み合わせた人の顔
- ③オーソドックスなたい焼きの中身は？
- ④〇〇〇〇〇クラス、〇〇〇〇〇キス、〇〇〇〇〇ネーム
- ⑤原子記号はP。歯や骨にも多く含まれている
- ⑦唯一無二とは〇〇〇と無いこと
- ⑨灼熱の日差しの下、外で涼をとるならここ
- ⑩白雪姫もアリエルもラプンツェルも
- ⑬お医者さんになるにはここに進学

頭の体操

カギを参考にマス埋めて下さい。
黄色のマスの文字を並べ替えると
ある言葉になります。

【ヒント】

秋の行楽

ヨコのカギ

- ①ロックバンドQUEENの名曲『〇〇〇〇〇・ラプソディ』
- ④クマに遭遇、「死んだ〇〇」は無茶
- ⑥キリンは5本、カブトムシはオスだけ持っている
- ⑦推しを支持する熱狂的な〇〇〇
- ⑧現場上空を報道機関の〇〇〇〇〇〇〇〇が旋回
- ⑪現世はこの世、来世は〇〇〇
- ⑫満員電車は〇〇〇〇〇の余地もない
- ⑭〇〇〇〇画は仏教と共に日本に伝来、江戸時代に錦絵の多色刷りで発展した
- ⑮「咎」「科」共通の読み。過ち、けしからぬ行いのこと
- ⑯紙幣は日本銀行が発行し、〇〇〇は政府(財務省造幣局)が発行する
- ⑰『〇〇の花嫁』は岡山駅、高松駅などで駅メロに使われている
- ⑱「黒猫が横切る」や「13日の金曜日」など本来はネガティブな言い伝えのこと
- ⑲「〇〇蜂取らず」は「二兎追うものは一兎をも得ず」と同義

正解者の中から抽選で
10名に粗品進呈

右の二次元コードからご応募下さい(令和7年11月30日必着)
※応募の個人情報は、粗品発送のみに使用
※正解はホームページで12月末に発表





今回は「陶芸教室」のご紹介です

陶芸教室を開いて、もう10年です。メンバーは、全員が女性で現在7名。サロン清水町の中では古い方です。

陶芸は、手仕事で思い思いの作品を作ります。手を使うので健康的にも良く、談笑しながら作っています。各人各様の作品を作りますが、会のモットーは「楽しく作ること」。そのおかげか、メンバーの表情はいつもニコニコ顔です。

月に一度の陶芸教室ですが、教室の後のコーヒータ임は、世間話に花が咲きます。

さて、長くやっていますと、どうしても差が出てきます。上手な人は、手がかかりませんが、

中には、「丸投げ」的な人もいます。でも、それはそれでいいと思っています。

「誰が生徒か先生か」と、教える先生も楽しみながらやっています（笑）。弾んだ声が絶えない陶芸教室です。



サロン活動の内容や教室の日程など、お問い合わせは
企画係 ☎ 933-7373



矢野まで

九月

きよみず句会作品

(順不同)

わだかまり小さきことよと芒原

千

阿蘇山の芒野原は壮大に

椿

青すすきに囲まれている田圃かな

けい

生い茂る川辺の薄さわさわと

翠

穂すすきや道後平野の風となり

じゅん

手折りたる芒に指を切りにけり

千鳥

すすき野の音も光も風もなし

流水

グロリオサのつる先絡む炎暑かな

まる

脱藩の飛翔の心芒原

ひろこ

疲れたねお茶にしようか夕芒

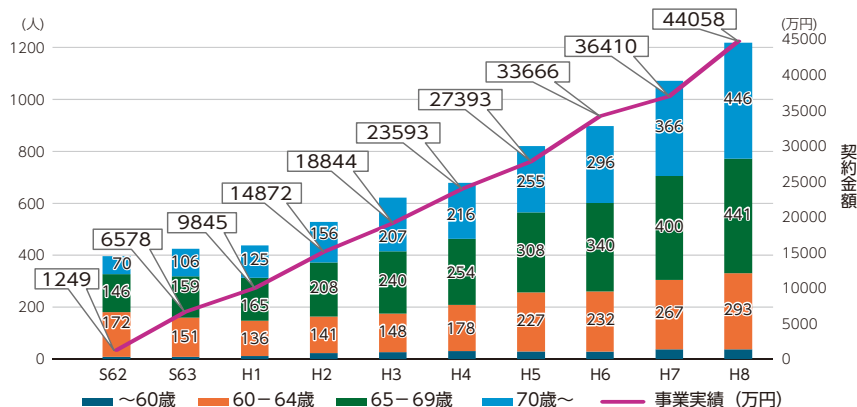
花勝美

分け入れば溺れるがごと芒原

竜胆

俳句入門教室「きよみず句会」は、毎月第2土曜日、シルバーサロン清水町で開催しています。興味がある方は、気軽にお問い合わせください。

年齢区分別会員数と契約金額の推移 (S62~H8)



●**会員数の推移**
S 62年設立当初の会員数は354人(男267人女87人)で、10年目には1218人(男797人女421人)まで増加しています。5歳ごとに区切った年齢別では、当初60~64歳と65~69歳が大半を占めていましたが、年齢を積み重ねる事もあり、65歳以上の割合が多くなっていき、10年目では70歳以上が36・6%と最も多く、次に65~69歳が36・2%と続いています。

契約金額においては右肩上がりで増えていき、当初は1249万円だったのが、10年目は、約35倍の4億4058万円となっています。

ヒストリー

設立40周年記念特集 第一弾

松山市シルバー人材センター

設立から10年のあゆみ (S62~H8)

当センターは来年で設立40周年を迎えます。そこで、会報編集委員会での40年を振り返ることにしました。

まずは、第一弾として設立から10年のあゆみを辿ってみましょう。

女性比率では、当初27%でしたが10年目では34・6%に増加しています。また、設立から3年程度は会員数は横ばいでしたが、平成2年度から右肩上がりで増加しています。この頃から、シルバー人材センターの活動が認知されてきたのだと思います。

**平成8年までにご入会された
会員さんからのメッセージ**

◆**矢能一成さん 96歳 (H3年入会)**

「シルバー時代を回顧して」
シルバーに入会し過ごした日々は、信頼する仲間のおかげで、サークル仲間からの温かい支援を受け、緊張感のある充実したものでした。第二の人生でこのような生活ができると思ってもよらぬもので私は幸せでした。シルバーは生き甲斐を与えてくれる場でもありました。私は生き甲斐をもって生き生きと活躍される多くの会員の方々を見てまいりました。シルバーがこれからも生き甲斐の見つけ

れる場であり続けられますことを願っております。



▲囲碁サークルで楽しむ矢能さん(左)

◆**小倉妙子さん 85歳 (H7年入会)**

リメイク工房に参加しリメイクや小物づくりに従事しました。現在は、足腰元気シルバー健康サロンに週1回参加し、皆さんと楽しく過ごしています。

◆**稲積文子さん 87歳 (H8年入会)**

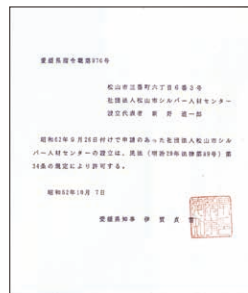
入会してからずっと除草のお仕事をしています。男性の会員さんに交じって迷惑かけるところもありましたが、とにかく楽しく続けてこられて感謝しています。現在も健康に気をつけます。現在も健康に気をつけます。がらお仕事をしています。

写真で見る松山市シルバー人材センターのあゆみ

1987年設立から10年（S62年～H8年）



設立総会（S62年9月）



事務局開設
（S62年10月）



地域懇談会開始（S63年8月）



会員忘年会開始（H2年12月）



剪定講習会開始（S63年9月）



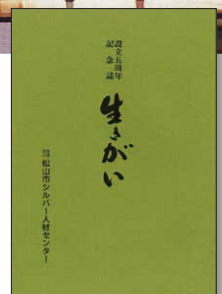
会員研修旅行開始（H3年7月）



会報誌シルバーだより
（H3年8月発刊）



設立5周年記念誌
生きがい
（H4年3月発刊）



安全管理委員会発足（H5年7月）



ボランティア活動開始（H5年8月）



若草会サークル活動開始
（H7年4月）



第一次中・長期計画策定
（H8年8月）



設立10周年記念式典（H8年11月）

委員会・講習会・研修会だより

●第4回 第6次中・長期計画策定検討委員会

10月9日(木)に第4回「第6次中・長期計画策定検討委員会(以下、「検討委員会」という)」を開催し左記について協議しました。

【議題】

- (1) 本計画に係る「センター事業の指針」について
- (2) 主要課題及び追加課題に対する具体的対策について
- (3) 本計画の主要数値目標(案)について
- (4) 経営理念・経営方針・行動指針の検討について
- (5) その他

主要課題対策、主要数値目標及び経営理念等の内容についての協議結果を基に、センター事業の指針及び本計画の数値目標(案)について改めて検討し、12月に開催予定の第5回検討委員会に草

案を提出する事としました。



●正会員の活動の在り方等検討委員会

7月31日(木)に第2回「正会員の活動の在り方等検討委員会」を開催し左記について協議しました。

【議題】

- (1) 就業グループのヒアリングとトラブル事例に見る課題の明確化
- (2) ルール化への課題の洗い出し
- (3) 地域の期待とセンター事業と

のギャップ

- (4) 会員さんの意識調査結果
- (5) その他(新たな提案)

はじめにトラブル事例から課題を共有し、ルール化への課題の洗い出しを行い、今後の地域の期待とのギャップについて協議を行いました。本委員会を契機に頑張っている会員さんの姿をデジタルを使って発信することを提案し了承を得ました。



●安全・適正就業委員会

7月2日(水)に第2期「安全・適正就業委員会」を開催し左記について協議しました。

【議題】

- (1) 第1四半期の事故発生状況と

モラル欠如事案について

- (2) 安全巡回指導について
- (3) 「労働安全衛生規則」の一部改正(熱中症対策)と「安全・適正就業強化月間」について
- (4) シルバー会員就業支援事業の進捗状況について

■巡回指導実施報告

〈第2回〉7月16日(水)

- ① 除草作業(アイテムえひめ)
- ② 除草作業(石手川ダム公園)

〈第3回〉8月26日(火)

- ① 除草清掃業務(中央浄化センター)
- ② 駐輪場誘導業務(花園町・中ノ川通り)

高温環境下での熱中症予防への注意喚起を行いました。



●女性会員活動活性化委員会

8月22日(金)に、女性会員活動活性化委員会(通称:女性会員の会)主催で「自転車交通安全講習会」を開催。道路交通法が改正され、令和8年4月から自転車の交通違反に反則金が課せられるようになることなど、より安全に自転車に乗るための正しい交通ルールについて松山東警察署交通第一課・水口上席係長に講習をしていただきました。会員他42名が参加し、参加者が日ごろ疑問に思っていた交通ルールについて質問が出るなど、有意義な講習会となりました。



▲自転車交通安全講習会の様子

●営業推進実行委員会

9月3日(水)に開催した第2回「営業推進実行委員会」では、はじめに委員の委嘱、つづいて令和7年度の派遣事業、職業紹介事業の実績報告(4月から7月の間)があり、派遣事業は、前年対比109・6%、就業延べ日数ベースで101%、職業紹介事業は、就職人数15人(前年18人)との報告がありました。

そのほか、令和7年度の活動目標である「顧客満足度の向上」、「求人の開拓」、「契約・就業の適正化」、「安全と健康」に関する取り組みに関して、派遣先巡回を62事業所、重点分野営業を85事業所に対して実施し、労働災害の予防と防止にかかる安全指導・注意喚起等の実施状況について報告がありました。

最後に、最低賃金の動向、派遣会員への就業評価制度の導入に関する課題と今後の対応について協議が行われました。

●イクじい・ばあばママ/児童クラブ補助員養成講習会

6月9・12・17・23日の4日間で「イクじい・ばあばママ養成講習会」、令和7年7月15・17日の2日間で「児童クラブ補助員養成講習会」、2つの子育て支援の講習会を開催しました。

どちらの講習会にもたくさんの方の会員さんにご参加いただき、関心の高さを感じました。

「イクじい・ばあばママ養成講習会」は今回、NPO法人ワークライフ・コラボ様にご協力いただき、内容を一新して開催しました。10名の会員さんの参加のもと、子どもに向かう心構え、救命救急講習、今と昔の子育て事情、特性のある子どものかかわりについて、グループワークを多く取り入れ、楽しみながら講習を受けることができた多くの会員さんよりお声をいただきました。

「児童クラブ補助員養成講習会」は昨年に引き続き2回目の開催でした。

定員いっぱい20名の参加があり、子どもを理解するための基礎知識・発達が気になる子どもの理解等、また、今回は松山市の児童クラブ担当の方、児童クラブの支援員の先生にもお越しいただき、実際の児童クラブの現状と実態をお話いただきました。

講師の先生方からは「子どもを取り巻く問題は色々ありますが、社会全体で子どもの事を理解しようとする意識が年々高まっていくことに『世の中捨てたもんじゃない』と毎回勇気づけられます。受講者の中から松山市の子どもたちのために時間を割いてくださる方が一人でも誕生するとうれしいです」と、お声をいただき、講習会を終えました。



▲グループワークの様子

理事会の動き

令和7年度第3回理事会を開催

令和7年9月26日（金）に松山市ハーモニープラザにおいて第3回理事会を開催いたしました。

各議案の内容は次のとおり。

●議案審議

■第1号議案「第6次中・長期計画策定に係る決議について」

(1)公益認定法上、収益事業に位置付けられ運営してきた介護保険事業を、公益目的事業へ変更すること。

(2)介護保険事業の今後の方針。

(3)受託事業における包括的契約への移行を遅くとも令和9年度から行うこと。

■第2号議案「会員就業料金基準単価の改正について」

令和7年12月1日付で愛媛県最低賃金が改正されるに伴う、会員就業料金基準単価の改正（通減改正率の適用）。

■第3号議案「令和7年度上半期『デジタル推進室』事業実績に基づく、『DX実行委員会』の設置及び『DX実行委員会規程』の制定について」

(1)センター全体のデジタル化をより一層推進するために、令和7年度から本部に新設した「デジタル推進室」の上半期事業実績報告。

(2)設置期間満了に伴う「DX推進委員会設置要綱」及び「DX推進委員会」の廃止。

(3)「DX実行委員会規程」及び「DX実行委員会部会規則」の制定、及び「DX実行委員会」及び「部会」の設置。

(4)世代をつなぐデジタル共創プロジェクト『一般社団法人 Generation Link』との連携協定締結。

■第4号議案「令和7年度収支補正予算（案）について」

(1)「愛媛県医療・福祉施設等物価高騰対策応援金」の交付に係る収支の計上。

(2)「愛媛県医療・福祉施設等食料費高騰対策応援金」の交付に係る収支の計上。

(3)受託事業における物品紛失に伴う保険金収入及び解決金の収支計上。

■第5号議案「諸規定の制定及び改正等について」

(1)デジタル化推進に伴う電子決裁システムの導入に係る「電子決裁事務取扱規程」の制定、及び関連する「事務規程」の一部改正。

(2)松山市職員の旅費に関する条例、及び同施行規則が改正されたことに伴う「旅費規程」の一部改正。

(3)育児・介護休業法の改正に伴う「育児・介護休業等に関する規程」の一部改正。

(4)「情報公開規程」の不整合箇所の一部改正。

(5)「消費税法改正に係る対策検討委員会設置要綱」の有効期間満了に伴う廃止。

以上の5議案について審議の上決議。

●報告事項

事業運営会議報告、及び事務局報告（正会員の入会承認報告、事業実績報告、収支執行状況報告、正会員の活動の在り方等検討委員会実施報告）をそれぞれ行った。

8月末時点の会員数2083名（前年同月比37名減）



▲第3回理事会の様子

ふらっと寄り道

連載
02

松山城本丸・二之丸・三之丸界隈

「山の日（8月11日）」は雨だった。翌日炎暑の中、松山城（勝山）に登った。

出発点は本町2丁目の「札之辻」。松山城西堀端北詰の角（札ノ辻交差点）に、旧松山藩が各所への距離の起点として建てた御影石の立派な標柱がある。（愛媛県の起点は愛媛県庁本館前にある）



①北条まで4里、大洲まで13里、金毘羅まで31里などと書かれている

道標から北堀に沿って城山の方へ約120m進み、若草町の松山税務署の南で右に折れて堀之内公園に入る。かつて土塁の所に北御門があり、その内側は松山城の三之丸であった。（現在は堀之内）

松山市民会館の辺りから、松山城本丸、二之丸、三之丸の全体的な縄張りが把握できたので、これより本丸を目指す。県庁裏登城道を通り長者ヶ平まで坂道を上る。道北側の山腹には「登り石垣」が累々と築かれており、中腹にそれがよく見える場所がある。登り石垣は、二之丸と本丸の間にある広い空間への敵の侵入を防ぐために築かれた。二之丸北側にも、もう1本登り石垣があったそう。南側はほぼ完全に残っており、総延長230m、国内最大規模を誇る。万里の長城のミニチュア版である。



②尾根に築かれた登り石垣

急な坂道を制覇して本丸に到達。本丸は高い石垣の上に築かれており、そこへたどり着くには幾つもの城門に阻まれるのであるが、戸無門、筒井門、太鼓門をクリアしてやっと本丸。松山城は標高132mの勝山に加藤嘉明が築いた平山城で、大天守と小天守及び2つの隅櫓を結んだ連立式の名城である。



③再建された現在の天守は三重三階地下一階



④城山公園から本丸、二之丸を見上げる



整備作業の際、大井戸から日露戦争時のロシア人捕虜と日本人看護婦のロマンスを秘めた金貨が発掘され「恋人の聖地」に選定されている。

二之丸史跡庭園を二巡、三之丸に降りてきた。そこには藩主の住居であった「三之丸御殿」があったという。国立四国がんセンターがあつた場所辺りである。松山市が行なった「松山城三之丸跡13・14・15次調査」でも確認されており、また、今年、元藩主久松家から愛媛県に寄贈された資料の中の天明3年（1783年）に描かれた「三之丸御殿図」からも知ることができる。三之丸御殿跡地も二之丸史跡公園のような整備が期待される。

こちら事務局

こだま

— 会員さんからの投稿をご紹介します —



●社会の大切な役割を担う

シルバー就労に誇りを

6月のある朝、愛媛新聞の「読者の広場」欄で『シルバーの草刈りに感謝』という投稿を目にした。暑い最中、石手川の土手の草刈りの様子を見て、感謝する言葉が並んでいた。高齢世帯にとつても庭や木々のお世話が難しくなつて、シルバーの剪定・除草班の存在が欠かせなくなっているが、広く考えると地域環境の整備はもちろん、ひいては国土保全に寄与していることにつながる。概してシルバーの就労の多くは「社会的価値」に裏打ちされている。もつともつと誇りを持つて安全第一に頑張つてほしいと願わずにはられない。

土居園江さん

●何歳からでも「初めて」に挑戦

令和7年5月に78歳で知人からの紹介でシルバー人材センタ―に入会しました。初めてのお仕事が育児支援サービスのお仕事で、子どもさんの調理と見守りでした。その時の気持ちを短歌に初挑戦して愛媛新聞の文芸コーナーに投稿したところ、入選し新聞に掲載されました。

いざいかん 七十八歳初仕事

若きママ待つ子育て支援

思い切つてチャレンジしてよかったと思っています。これからも、いろいろなお仕事に行つてみたいと思います。

西岡公子さん

投稿募集中!

表紙の写真や「こだま」への投稿を募集中です。

詳細は業務企画課・矢野までお問い合わせください。

頭の体操・前回の答え

前回のシルバー松山「夏季号」に掲載した「頭の体操」の正解はマツリバヤシ(祭囃子)でした。ご応募いただきありがとうございます。厳正なる抽選の結果、正解者(19名)のうち左記の10名に粗品を進呈します。

URL <https://m-silver.sakura.ne.jp/>

①サ	ジ		②レ		③ツ	④バ	⑤メ
ロ		⑥ペ	ッ	ト		⑦テ	オ
⑧マ	⑨リ	ッ	キ		⑩マ	イ	ト
⑪コ	ン	ト		⑫キ	タ		ジ
	⑬カ	ボ	⑭ス		⑮イ	シ	ヤ
⑯シ	ー	ト	ベ	ル	ト		ワ
⑰コ	ン	ル	リ		⑱コ	ー	ン

【当選者(敬称略)】

徳山紳一、西岡孝幸、藤原桂三、伊藤整郎、長谷喜八郎、福岡秀子、西内清春、久保一、氏原 修、白石健治

編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」と言っていたのはいつのことだろう、残暑はまだまだ厳しそうだし、体もまいっているのでは?そんな時に元気をもたらす朗報です。当センターは来年、設立40周年の節目の年を迎えます。

そこで、会報編集委員会では40年の歩みを振り返ることにしました。まず第一弾として、設立からの10年を特集し、当時入会され今も現役で活躍している会員さんへのインタビューや懐かしい写真等を掲載しています。自身の記憶と重ねてみてください。何か感じるものがあるかもしれません。私は元氣と未来への希望をもらいました。40年繋いできたものを受け継ぎ、更に大きく発展させたい。そのために皆さん協力して進んでいきましよう。今回は設立11〜20年を特集します。会報編集委員会は会員の皆様に元氣をお届けします。

(U)